



2022年9月22日

各 位

会 社 名 株式会社キャピタル・アセット・プランニング
代表者名 代表取締役社長 北山 雅一
(コード番号：3965 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 財務経理部 部長 青木 浩一
(TEL. 06-4796-5666)

2022年9月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2022年5月13日に開示しました2022年9月期の通期連結業績予想を修正しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2022年9月期 通期（2021年10月1日～2022年9月30日）の連結業績予想値の修正

(1) 修正の内容

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 7,100	百万円 10	百万円 20	百万円 10	円 銭 1.75
今回発表予想 (B)	6,730	△270	△240	△230	△40.24
増 減 額 (B-A)	△370	△280	△260	△240	—
増 減 率 (%)	△5.2	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 2021年9月期	6,631	120	117	69	12.19

(2) 修正の理由

新型コロナウイルスの感染再拡大に伴い、対面販売を主たる販売チャネルとする生命保険会社プロジェクトの開発延期、凍結が継続し、第4四半期から生保複数社における新商品投入プロジェクト、銀行・証券会社向けAPIを活用した相続・ゴールベースプランプロジェクト等が開始されたものの上期の売上予算未達成を埋めきれず、売上高は前回発表予想比370百万円の減収となる見込みであります。これにより売上総利益は64百万円減少すると予想されます。

当社は、金融システム開発業界における競争激化のなかFintech・DX等を推進するため、優秀な開発人材の確保・雇用の継続を最優先の課題としており、この方針に基づき下半期においても人的資本投資に継続的に注力してまいりました。前回発表予想時以降も競合他社との対抗上、システム開発に係る労務費を42百万円、外注費を83百万円、開発人材への教育研究費を含む製造経費にも40百万円と前回発表予想時に比べさらに上乘せしました。また、マーケティング関連人件費や教育研究費にも26百万円を追加投入するなどの施策を推進し、営業利益は前回発表予想に比べ280百万円の減少となる見通しです。この結果、営業損失は270百万円、経常損失は240百万円となる見込みです。

一方、ソフトウェア資産については、将来の回収可能性を検討し120百万円の減損処理を行うとともに役員退職慰労金31百万円を返上し、親会社株主に帰属する当期純損失は230百万円となる見込みです。

2. 配当予想について

今回の業績予想の修正に伴う、期末の配当予想の変更はありません。

3. 本件に関するお問合せ先

総務経営管理部 IR担当 E-mail : ir_cap@cap-net.co.jp TEL : 06-4796-5666 (※)

※2022年9月22日現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、在宅勤務を実施しており、電話でのお問合せにはお答えしかねる状況です。上記のEメールアドレスまでご連絡をお願いいたします。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上